

第一部国際協力分科会（第 24 期・第 4 回）議事要旨

日時：2018（平成 30）年 12 月 20 日（木）10：00～12：00

会場：日本学術会議 5-C（2）会議室

出席：大沢真理、中野聡、藤原聖子、町村敬志、矢澤修次郎、山本眞鳥

青木玲子（スカイプ）、西條辰義（スカイプ）、杉原薫（スカイプ）

議題

（1）ISC への対応について

ISC 結成後、初の本格的国際会議にあたる WSSF 福岡の開催時、前期からその開催準備を担当してきた本分科会も、福岡市現地において確認と意見交換の会合をもった（9 月 26 日 12：30～14：00、福岡サンパレス「ラピュータ」、出席：青木、大沢、西條、齋藤、杉原、中野、羽場、藤原、町村、山本）。成果およびその後の動向について、参加委員からの紹介があった。閉会時挨拶のなかで武内副会長が今後について発言をしたが、ISC のもとで WSSF を継続するという話はまだ公式的には出ていない。WSSF 開会式における皇太子の挨拶が宮内庁 HP に掲載されており、そのなかで社会科学の重要性が強調されている。

（2）AASSREC 会議への対応について

町村委員から、資料に基づき平成 31 年度代表派遣募集（1 月 7 日締め切り）について説明があり、続けて国際委員会国際対応戦略分科会の参考資料等に基づき、加入学術団体調査票（1 月 25 日締め切り）について紹介があった。

これを踏まえ、AASSREC に関し代表派遣方針について意見交換を行った。過去数回については、AASSREC が設定した共通テーマを受け、日本国内で 4 人程度が分科会場で事前報告を行い、それをもとに 1 名が代表報告を行うという形をとってきた。2019 年 9 月末から 10 月上旬にベトナム・ハノイで開催予定の AASSREC 大会についても、同様の手続きを経て対応することを確認した。派遣については 2 名枠をこれまで確保することが多かったため、今回も 2 名（杉原委員・町村委員）を申請することについて了承された。

また、AASSREC 側から 12 月 31 日締め切りで回答を求められている次回大会の共通テーマの候補案として、意見交換をふまえ、（1）Gender equality for sustainable development および（2）Security and Equality for Sustainable Futures を提出することとした。

（3）IFSSO 会議への対応について

矢澤委員から IFSSO の現状および対応の経緯について説明があった（矢澤委員は現在 IFSSO の第 1 副会長に就任）。2019 年 10 月 12・13 日にトルコで次回大会が開催予定となっている。意見交換を踏まえ、1 名の派遣申請（矢澤委員）について了承された。

IFSSO に対して役員選出を含め継続的に関与していくため、すでに IFSSO の活動に関わりをもっている連携会員の上杉富之氏（成城大学・人類学）へ、第一部国際協力分科会の委員就任を依頼してはどうかという提案があり、審議のうえ、この方針を了承した。

（4）人文・社会科学領域の国際交流拡大について

国際学術団体や分野ごとの国際学会への参加状況などについて意見交換を行った。第一部全体について様々な機会をとらえ、引き続き情報を収集していくこととした。

（5）次回について

AASSREC 大会に向けた準備会合を含む次回の分科会を、4 月第 1 週をめぐりに開催することとした。共通テーマが公開された後、報告者をメールによる意見交換によって決定し、報告者も交えて、日程調整を行うこととする。